



トヨカツcinema 2月上映作品



©Behrouz Badrouj

ソニータ

2024/2/14 WED [昼の部]14:00~ [夜の部]18:30~

豊中市立市民公益活動支援センター(庄内コラボセンター1F)

各回定員20名・入場無料・申込不要

About the film

ソニータの理想の両親はマイケル・ジャクソンとリアーナ。スクラップブックに書いた夢は有名なラッパーになること。しかし、現在の彼女のファンは保護施設の子どもたちだけ。一方でアフガニスタンに住む彼女の家族は、古くからの習慣どおりに見ず知らずの男性に嫁がせようとする。パスポートも滞在許可証もなく、アフガニスタンのタリバンから逃れてきた難民の彼女は、人生を変えるチャンスをもつことができるのだろうか？

原題:Sonita 制作:TAG/TRAUM /2015年/スイス・ドイツ・イラン 共同制作:INTERMEZZO FILM、ロクサレ・ガエム・マガミ、NDR、RTS、SRG SSR、DR 配給:ユナイテッドピープル 時間:91分
監督:ロクサレ・ガエム・マガミ 音楽:ソニータ・アリザデ、セパンダマズ・エラヒ・シラジ キャスト:ソニータ・アリザデ、ロクサレ・ガエム・マガミ

<といあわせ>

豊中市立市民公益活動支援センター (運営団体:NPO法人とよなかESDネットワーク)

〒561-0833 豊中市庄内幸町4-29-1 (庄内コラボセンター1F)

電話:06-6398-9189 FAX:06-6398-9209 メール:toyonaka.npo@jcom.zaq.ne.jp



地中海に面した美しいビーチ。サーファーやラッパーに



普通の大学生たち。あなたの全く知らないガザ地区へご招待！

ガザ
素顔の日常

REAL FILMS and FILMOPTION INTERNATIONAL in association with THE FIRST FILMS and GLOBEWORK BEST FILM COMPETITION present GAZA a co-production with PBS ORGANIZATION BELGIUM
DISTRIBUTION: BANQUE INTERNATIONALE COOPERATION DEVELOPPEMENT (BICOD) - FRANCE: MONTY CINEMA BEST FILM COMPETITION BELGIUM BELGIAN FILM FESTIVAL BRUXELLES AND IFFRHO
www.heart-of-sky.net
東京23区の6割ぐらいの狭い場所にパレスチナ人約200万人が暮らすガザでは人々が貧困にあえいでいる。戦争で多数の学校、病院、家屋、発電所などが破壊され、多くの命も失われるなど、ここには命の保証もない。それでも日常を力強く生きようとする人々がいる。「欲しいのは平和と普通の生活」。ガザの人々は普通の暮らしを今日も夢見ている。

2024/3/13 WED
14:00 ~ , 18:30 ~

3月上映作品：
ガザ 素顔の日常

あなたはガザ地区と聞いたら、どんな場所をイメージするだろうか？危険な戦争のイメージを思い浮かべるのではないだろうか？穏やかで美しい地中海に面しているガザの気候は温暖で、花やイチゴの名産地。若者たちはサーフィンに興じ、ビーチには老若男女が訪れる。海辺のカフェの飛び切りハイテンションな店主に朝会えば、間違いなく誰もが幸せな一日を過ごせるはずだ。他にもタクシー内で歌う人々やあふれる想いを叫ぶ若いラッパーに、妻が3人、子どもが40人いる漁師のおじいちゃんなどが登場する。こんな個性豊かなガザの人々にきっと魅了されるに違いない。

しかし、東京23区の6割ぐらいの狭い場所にパレスチナ人約200万人が暮らすガザの住民の約7割が難民で貧困にあえいでいる。戦争で多数の学校、病院、家屋、発電所などが破壊され、多くの命も失われるなど、ここには命の保証もない。それでも日常を力強く生きようとする人々がいる。「欲しいのは平和と普通の生活」。ガザの人々は普通の暮らしを今日も夢見ている。

原題:Gaza 制作:Real Films=Filmoption International/2019年/アイルランド・カナダ・ドイツ 配給:ユナイテッドピープル 時間:92分
監督:ガリー・キーン、アンドリュウ・マコーネル プロデューサー:ブレンダン・J・バーン、ガリー・キーン、アンドリュウ・マコーネル、ポール・カデュー 音楽:レイ・ファビ 撮影:アンドリュウ・マコーネル 編集:ミック・マホン



2024/4/10 WED
14:00 ~ , 18:30 ~

4月上映作品：
マヤ — 天の心、地の心 —

古代マヤ暦の偉大なカレンダーは2012年12月21日に終焉。この壮大な物語はどのようにして終わりを迎えるのだろうか。海は荒れ狂うのだろうか。最後の木が切り落とされた時、天が落ちてくるのだろうか。

古代マヤと私たちの文化や宗教観とは異なる。しかし、私たちが今直面している問題にマヤ暦の終わりが、不思議にもタイミングが同期しているのはなぜだろうか。事実、すべての生命を宿している地球は、恐ろしい速度で破壊されつつある。この現実を前に、私たちは無関心であり続けている。マヤ暦の終焉は盛んに「人類の滅亡」と関連付けられ、様々な情報が溢れているが、このような憶測よりも説得力のある事実がある。現代のマヤ人900万人が暮らすメキシコのチアパス州とグアテマラは、グローバリゼーションによって翻弄されているのだ。遺伝子組み換え作物、グローバリゼーション、鉱山開発などにより、地球が破壊され、マヤ人たちの文化や生活環境が崩壊に瀕している。現代マヤ人に起きていることは、私たち自身が抱える問題の縮図ではないだろうか。

原題:HERZ DES HIMMELS DER ERDE 制作:アンブレラ・フィルムズ・プロダクション、ZDF/3SAT/2011年/ドイツ 配給:ユナイテッドピープル 時間:99分
監督:フラウケ・ザンディッヒ、エリック・ブラック 助監督:フロリーナ・メンドーサ 製作総指揮:エリック・ブラック 音楽:アルトゥーロ・パンタレオン、ゲッツ・ナレツパ、ソーイ・キーティング、サク・ツェブル、ホセ・ルイス・ヴァカ・“チェロ” 撮影:エリック・ブラック 編集:グレッタ・イエンセン キャスト:ホセファ“チェピータ”・ヘルナンデス・ペレスほか

イベント情報はSNSでも発信中→

※上映作品は予告なく変更になる場合があります。

